

I 特別支援教育・学級の理解

①「〇〇教室ってどんなところ？」《授業》

☆題材名「かつくん」



(ねらい)

特別支援学級在籍児童の特性を理解するきっかけとし、お互いを認め合うことで学校や学年、学級での所属感や自己有用感を育む。(自己理解・他者理解)

(展開案)

活動	留意点
1 読み聞かせを聞く。	・資料「かつくん」 ・話の内容に自分の経験を重ねて考えさせる。
2 特別支援学級の紹介を聞く。	・特別支援学級が複数ある場合はそれぞれの担任から説明をする。 ・教室環境や設備の違い、学習内容の違い等を知ること、〇〇教室への理解につなげる。 ・違う面だけでなく同じ面も知らせ、学級や学年への所属感を育む。 ・児童からの質問にはできるだけ分かりやすく答える。
3 友だちや自分の「いいところさがし」をする。	・イメージすることが難しい場合には、(優しい、元気がよい、挨拶が上手、掃除をがんばる等) 具体例を紹介する。 ・自分のいいところが思い浮かばない場合は、友だちからの意見を参考にしてよいことを伝える。
4 学習を振り返る。	・それぞれがいいところをたくさん持っていることに気づき、お互いを認め合えるようにする。

(児童・生徒の感想)

参考資料：講談社「かつくん」

- ・〇〇教室のことや〇〇さんのことが分かった。
- ・〇〇さんと仲良くなりたい。
- ・〇〇さんが困っているときは手伝ってあげようと思った。

